

シリーズ[つながり]

伝えたい「ぬくもり」の 気持ちを忘れずに

吹く風に冬の到来を感じるこのごろ、鍋物が美味しい季節になりました。みなさんこんにちは、「ぬくもり通信」編集部です。しばらくお休みしていた「ぬくもり通信」を再開させていただくことになりました。四季にあわせ、みなさまに温かい話題をお届けする予定です。どうぞよろしく願います。新生第1回の冬号は、フローリア美翔の話です。



どできる余裕もないお心持ちだったのでは、そう思うと胸が熱くなりました。あの時差し出された優しい手の感触みは今でも残っています。

指先に歴史を想う

【男性スタッフ談】

小さく折りたたまれたチラシの裏面には毎日の天気が書かれてありました。何年もコツコツと記録されたメモ帳大の束を持って、「これを入れてください」と私に差し出したのは、お孫さんでした。納棺は映画「おくりびと」でも取り上げられました。家族にとっては現実を受け止める大切な時間で

味噌汁より温かい言葉

【女性スタッフ談】

朝でした。「こんな早よから、すいませんね。」と息子さんや、亡くされたおばあちゃんから、かけられた言葉と手が忘れられません。お通夜の翌日の七時。おにぎりを準備し、お味噌汁をあたため、控室に持って行く。これまで何度も経験してきた朝です。しかし、この日は違いました。寝ずの番で目を



腫らしたおばあちゃんは、味噌汁よりも温かい言葉で、こころで、私の手をそっと包んでくれました。本当は私への気遣いな



わけ、あのメモ帳を傍らに置きこころを込めて最期の準備をさせていただきました。

ぬくもりを伝えること

私たちのフローリアの日常（仕事）は一般の方にとって経験されない事が繰り返されています。自分たちが慣れている儀式でも、ご家族にとっては初めての体験ということがあります。加えて、これまであまり抱いたことのない感情が現れては消えという状態が繰り返されます。

「ぬくもり」を伝えるというのは、人への接し方を考えることです。前もって人の感情を察する力だと思えます。人の気持ちではなく、感情に私たちが応えなくてはならないと信じています。ご家族がやわらぐ、やすらいでいただくことを目指して、私たちはこの十二月に全員の気持ちを一つにする目標をつくりました。フローリアの再出発です。「ぬくもり」を抛りどころとして、新しい物語が始まります。



す。静かに眠るおじいちゃんの手先に触れると、畑仕事でしようか、ゴツゴツとした感触が伝わってきました。私は、きつとこの指で土を耕し、ボールペンを取り出し、メモを書き、そして人生を記録していたのだと思いました。歴史を刻んでこられた左手と右手を胸の前で合



みなさまがやわらぐ、
そして、やすらいで
いただくことを目指して



フローリア美翔
谷口 株立 たにぐち・もとはる
こころに宿る「あたたかな気持ち」を言葉、動きにして、送る、集う時間の中で、ぬくもりをみなさまにお届けします。

思いやりの
こころを大切に